

症 例 報 告

通し番号		患者年齢	55 歳	患者性別	男・女	来局(調剤(OTC 等相談)・在宅・入院・公衆衛生)
領域番号	16	管理するプロブレム	OTC 医薬品使用により、尿道のムズムズ感、夜間頻尿、軽い残尿感の改善を図る			
自ら薬学的管理に関与した期間および回数 (開始年月日～終了年月日・回数)				期間(西暦)	2020 年 7 月 7 日～2021 年 1 月 12 日	
				回数	8 回 (内 フォローアップ 1 回)	
患者背景	【自らの薬学的管理までの経過】 2015 年よりアトピー性皮膚炎のため、月に 1 回定期的に来局している。2020 年 7 月、尿道にムズムズ感出現。泌尿器科を受診するが、異常なし。医師からは特に問題ないといわれた。					
	【病歴】 アトピー性皮膚炎					
	【社会・生活歴(嗜好品含む)】 高校教師、妻と娘 2 人、飲酒(一)、喫煙(一)					
	【家族歴】母親:アトピー性皮膚炎					
	【薬学的管理開始時の処方内容】 杞菊妙見顆粒(クコシ、サンヤク、キクカ、ブクリョウ、ジオウ、ボタンピ、サンシュユ、タクシャ)					
薬学的管理の要約	【他科受診・併用薬】 皮膚科:ロラタジン錠 10mg「サワイ」、プロトピック軟膏、アンテベート軟膏					
	<p>2020 年 7 月 10 日、尿道付近にムズムズ感が出現した。自宅近くの泌尿器科を受診し、腹部エコー、尿検査実施したがいずれも異常なし。前立腺触診では前立腺がやや肥大しているものの、年相応なので特に問題がないと医師にいわれた。仕事上のストレスが多く、特にデスクワークをしていると尿道付近にムズムズするような感じがするとのこと。夜間頻尿(+)1~2 回/1 晩トイレのために起きる。1 日 10 回以上はトイレに行っている。軽い残尿感もあり。</p> <p>以上の症状に対し、第 2 類医薬品の漢方薬である杞菊妙見顆粒の服用を勧め、購入となった。</p> <p>2 週間後の 7 月 24 日に電話にてフォローアップを実施したところ、仕事が忙しくて昼の服用はあまりできていないが、1 日 2 回朝食後と就寝前には服用しているとのこと。服用時点は、食前か食間の方が良いことを説明した。服用開始後は、夜間トイレにおきることはなくなったが、ムズムズ感は時々起きている。</p> <p>8 月 1 日、皮膚科の処方箋調剤のため来局した。尿道のムズムズ感の回数はかなり減ってきた。杞菊妙見顆粒を再度購入となり、ストレス解消のため、軽い運動を勧めた。その後も月に 1 回、皮膚科の処方箋調剤のために来局した際には、杞菊妙見顆粒を購入し継続的に服用している。運動は週 1 回程ウォーキングをしており、10 月頃からは尿道のムズムズ感はほぼ消失し、現在は全く症状がない。</p>					
文献等	杞菊妙見顆粒添付文書(http://www.yatsume.co.jp/kogiku-karyu_1110.pdf)					